

さとう ゆみ

きらめく未来づくり通信

2018年4月発行 NO. 33 ~3月議会報告~

TEL:0561-61-6991

携帯:090-5863-9971

E-mail:info@satoyumi.net

☆さとうゆみ議会報告会☆

6/16(土)14時~16時

長久手交流プラザ1階



新年度の一般会計予算190億円を可決

平成30年度予算も、歳入の根幹を占める市税の順調な伸びが見込まれています。歳出では、西小校区まちづくり協議会が運営費500万円とは別に100万円で青色回転灯装備のパトロールカー(青パト)を購入する予算について議論となり、市は青パト購入費の予算執行を見合わせると表明しました。



新年度予算で進むこと

- ・長久手小学校亜炭鉱空洞充てん工事…1億7647万円
- ・北中校区防災倉庫設置工事…5,000万円(作田地内に)
- ・CSW…4141万円(コミュニティソーシャルワーカーを各小学校区に1人配置し生活課題を解決)
- ・休日保育の実施…857万円(アスクはなみずき保育園で)
- ・土曜日の保育時間延長…261万円(長湫北保で18時まで)
- ・病児保育…2501万円(氏神前の医療機関で)
- ・児童クラブ・放課後子ども教室棟整備…南小1億7375万円、北小2億80万円(学校敷地内に)

卯塚墓園を市外居住者も使用可能へ

市営墓地卯塚墓園を市外居住者も利用できるようにする条例改正案を可決しました。これまでは市が整備する市民のための墓園という方針で、使用は市民に限られていました。平成30年度は、市外居住者へ芝生墓所のみを販売する予定です。今回の改正により、市民が市外居住者より後回しになることがないよう、また思うように売れていない芝生墓所の販売が順調に進み、市民の立場からも採算が合って良かったと感じられるようにすることを求めました。

芝生墓所	永年	市内居住者	100万円
		市外居住者	120万円
	30年	市内居住者	40万円
		市外居住者	110万円
樹木型合葬式墓所	1体永年	市内居住者	15万円
		市外居住者	20万円
		市内居住者	40万円

☆さとうゆみプロフィール☆ 1978年名古屋市名東区生まれ
 2000年南山大学文学部卒業、損害保険会社に勤務
 2011年市民活動を経て33才で長久手町議会議員に初当選
 2015年2期目当選(現在、総務委員会委員長)
 家族:夫、息子(高校1年生)、娘(小学4年生)
 どの政党にも属さず長久手に暮らす人の立場で発言します!

自治基本条例は反対7、賛成10で可決

自治基本条例(みんなで作るまち条例)の議案は、反対の議員7人、賛成の議員10人の賛成多数で可決され、長久手市の新たな条例として制定されることになりました。

自治基本条例は、市、市民、議会の役割やまちづくりの基本方針を定めたものですから、反対の議員が7人も出る内容であることは問題だと考えます。

市民と職員で構成する条例検討委員会(自治KEN)が平成29年3月に市長へキーワードを提言し、市の職員が条文を書いています。市の答弁によると、この条例はまちの憲法でもなければ、最高規範性もなく、優位性もない条例とのことですが、第2条第2項に「市は、他の条例、規則、計画等の制定、改廃等にあたっては、この条例との整合を図らなければなりません。」とあり、他の事柄への影響が大きいなどの理由から、私さとうゆみは反対しました。

反対の議員 さとうゆみ じんの和子 大島令子 上田大
 なかじま和代 田崎あきひさ 林みすず (敬称略)

公民館、福祉の家貸室は時間単位で貸出

私は平成29年9月議会の一般質問で、午前、午後、夜間の単位でしか貸室が利用できない状況を、時間単位で利用できるようにすべきと提案をしました。今議会に時間単位で利用可能とする条例改正案が出され、賛成全員にて可決しました。4月申し込み分から適用されます。市民の利便性の向上につながることを期待します。

区画整理課が消防署の建物内へ

市施行の公園西駅周辺土地区画整理事業の事務所の所在地を市役所庁舎内から長久手消防署の建物内へ変更する議案を可決しました。市役所庁舎が狭く職員が座りきれないため、区画整理課全体が移動します。消防署の建物にはエレベーターがなく、階段を上ることが困難な人は3階の区画整理課の場所まで行けないなど、課題があります。

建物の老朽化と事務スペースの不足から、市役所庁舎建て替えの基本構想と基本計画がすでに作成されていますが、先行き不透明な状況です。



リモテラス公益施設の進め方はこれでよいか

Qさとう リモテラス公益施設整備は、いくらを投入する事業か。

Aくらし文化部長 建物完成までに4億7,778万円、別途土地に1億6,000万円。

Qさとう 市民主体の計画づくりとして市がワークショップ参加者を募ったところ54人が手を挙げたが、6人しか参加していないのはなぜか。

Aくらし文化部長 市民主体の運営をより意識した内容に変更したため、変動があったと思われる。

～さとうゆみの考え～

リモテラス古戦場駅前に「リモテラス公益施設」を建設する事業が進められています。観光交流、大学連携、多文化共生、子育て支援の4つの機能を持つ施設です。

市は、市民参加を進めるとしてワークショップ参加者を募り、54人が申し込みましたが、市が開催時期も内容も変更したため、54人中6人のみの参加でした。また、平成29年度は100プロジェクト(月10個程度)を実施し1万人の声を聞くとしていましたが、1年間で16個しか行わず参加者は約600人でした。多額の税金を投入するので、着実に進めるよう指摘しました。

建設予定地(平成33年開所)→



待機児童が増大していることへの対応は

Qさとう 保育園、児童クラブの平成30年4月時点の待機児童は何人か。

A福祉部長 保育園は56人(1才39人、2才17人)。児童クラブは111人だったが北と南に定員を超えて受け入れ、東にもう1カ所設置し70人となった。

Qさとう 保育園、児童クラブの待機児童をどのように解消するか。

A福祉部長 平成31年4月に小規模保育園2カ所で0～2才児38人を受け入れる。平成32年度に移転新築の上郷保育園で定員を130人から232人へ拡大。児童クラブは、南小、北小敷地内に多目的棟を整備し、定員をそれぞれ80人へ拡大予定。

～さとうゆみの考え～

子育て世代の増加が著しい長久手市では、新たな整備に対して需要が上回り、待機児童が増大しています。さらなる受け皿拡大が急務です。今年度の児童クラブは、緊急措置として定員を超えて受け入れたため、運営に支障がないか状況を見ていきます。南小と北小敷地内に多目的棟を建設中で、定員を80人に拡大しますが、今回すでにそれを上回る申し込みがあります。将来を見据え、計画的に進めるべきです。

児童クラブ	申込数	当初受入数	追加受入数	待機児童
長久手	92	80		12
東	76	60		0
東2		0	16	0
下山	100	60	10	30
南	87	60	15	12
市が洞	86	70		16
西	36	36		0

平成30年度市長施政方針について

Qさとう 次期総合計画(平成31～40年度)の7つの基本目標「やってみたいでつながるまち」「子どもが元気に育つまち」「みんなでみらいへつなぐみどりはまちの宝物」「みんながつながり、誰もがいきいきと安心して暮らせるまち」「いつでもどこでもだれとでも広がる幸せの和」「あえて、歩いてみたくなるまち」「職員が、飛び出すまち」は市民が決めたのか。

A市長公室次長 市民の意見をもとに市民有志と若手職員で決めてきた。

Qさとう 南小学校区共生ステーションはどの場所にどのように整備するのか。

A総務部長 杵ヶ池公園内北東の広場周辺で設計を検討している。平成30年度は、市民とともにワークショップを用いて基本設計を行っていく。

～さとうゆみの考え～

市長は、市長施政方針の中で「平成30年度も次期総合計画を筆頭に各種計画を市民主体で作り上げていく」と述べています。市民参加は大切だと考えますが、これらは行政計画ですから、市民中心で決めていくのではなく、市の方針や市職員の考えを十分に入れて作成すべきです。

市長は小学校区ごとのまちづくりを掲げており、西小校区、市が洞小校区の共生ステーションに続き、南小校区でも開設のめどが立ちました。一方で、コミュニティ活動事業費補助金は岩作区に172万円、北熊区に45万円などと従来の枠組みに出しているため、小学校区ごとのまちづくりが市長の方針ならば、一貫した取り組みをするよう求めます。

通信の発行に政務活動費を使用しています(政務活動費年12万円)

26、27、28日常任委員会(総務、教育福祉、くらし建設)
7月4日議会運営委員会、6日討論採決

さとうゆみブログ「きらめく未来づくり日記」で
長久手市、市議会の最新情報を毎日発信中→



◇◇◇議会の傍聴へお越しください◇◇◇

臨時会 5月15日

6月議会(平成30年6月14日から7月6日まで23日間)

6月14日開会、15日議案質疑、19、20、21日一般質問